

ほこりの吸入予防

地震などで家屋が倒壊することにより、コンクリートや断熱材、乾燥した土砂などが大気中に大量に舞うことになります。これらを吸い込むと、せきや鼻水が出やすくなったり、呼吸器疾患のある人では病気が悪化するおそれがあります。

ほこりや粉じんを長期間にわたって吸い込むと、将来的に「じん肺」という病気を引き起こすこともあります。

呼吸器の病気を予防するために、ほこりの発生する場所で作業する場合には、以下の方法をできるだけ取り入れましょう。

- ほこりの吸入を防ぐために、必ずマスクを着用する
- ほこりが付着しにくく、付着しても払い落としやすい、スベスベした素材の服装を選びます
- 作業終了後や、外から室内に戻ったら必ずうがいをしましょう
- ほこりの発生をおさえる



ほこりの発生する場所をふたなどで覆ったり、水をまく、粉状のものはあらかじめ水で濡らすと発生をおさえることができます。

● 粉じんを除去する

排気装置などがある場合には、これらを使用します。

- 建物の解体現場にはむやみに近づかない、自宅の片づけをする際にもマスクを着用しましょう

* 作業後に、せき、たん、息切れが続くような場合は、救護所や医療関係者に相談しましょう。そのような症状を訴える人を見かけた場合も同様です。